



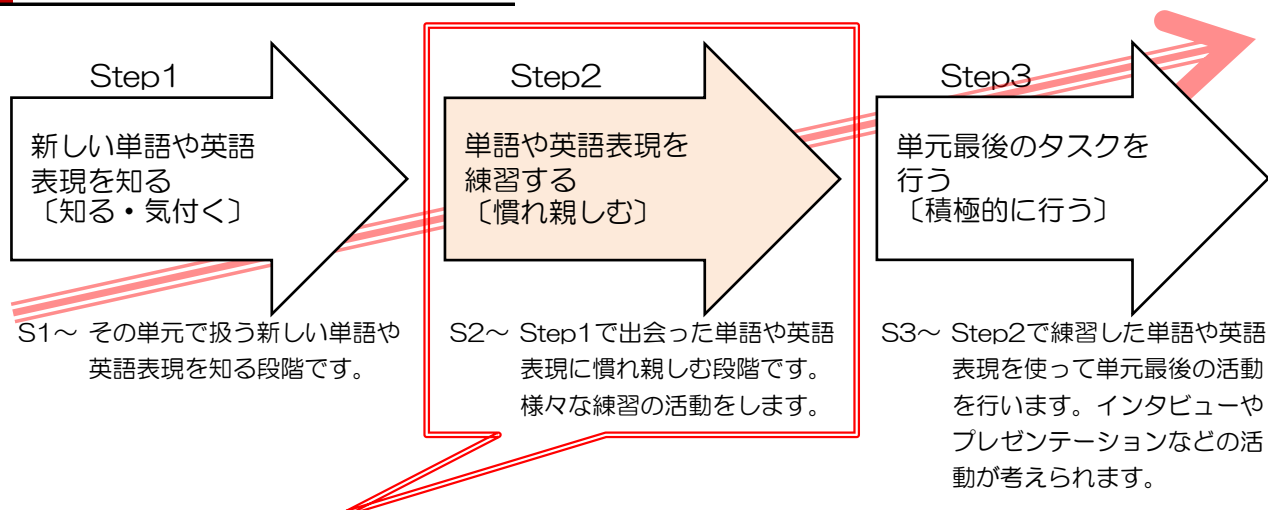
一単語や表現を練習する（慣れ親しむ）活動を充実させる一

各段階のポイント、今回は「単語や表現を練習する活動の充実」です。

単元最後のタスクを、自信を持って英語表現を使いながら行うためにも、その前段階で十分に慣れ親しむことが大切です。

「基本の3ステップ」を再確認した上で、二つの活動例を見てみましょう。

単元全体の考え方（基本の3ステップ）



What's missing? (ミッシング・ゲーム)

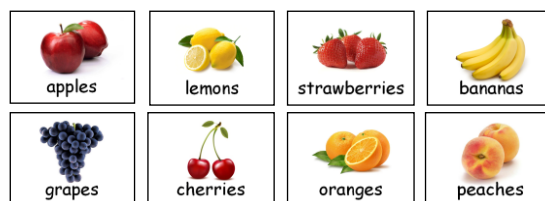
Hi, friends! の活動例にも載っている、いわゆる定番の活動です。

全体で一斉にやる時には掲示用カード、グループでやる時にはミニ・カードが必要です。

「なくなったカードは何か」を当てるクイズ・ゲームです。次のような教室英語を使いながら進めていきましょう。

- 1 Close your eyes. (目をつぶるジェスチャーといっしょに)
- 2 カードを取って隠します。
- 3 Don't look! Don't cheat! (見ちゃダメ!ズルはダメ!)
- 4 Open your eyes.
- 5 What's missing? 「何のカードがなくなった?」
(このフレーズが大事。なくなったカードの辺りを指さしながら)
- 6 Raise your hand. Bingo!/OK!

* 室蘭市教育研究所のリーフレット(4月配布)も合わせてご覧ください。



Slap (カルタ)

- 1 Spread the cards out, face up. (カードを広げて、イラストなどを上にするジェスチャーといっしょに)
- 2 Hands on your head. (両手を頭に載せるジェスチャーで)
- 3 I say a word.
- 4 Touch the card. (カードにタッチするジェスチャーで)
- 5 If two students touch one card, do rock, scissors, paper, 123. (両方の手で同時にタッチするジェスチャーで)
- 6 Don't touch two cards! (2枚のカードにタッチして、「×・バツ」のジェスチャーで)

活動にあたって

- 1 デモンストレーションは大切です。「百聞は一見に如かず」です。
- 2 段階に分けて指示を出します。No1～, No2～, No3～などと言うと、英語だけの指示でもかなりできます。
- 3 ジェスチャーをたくさん使って補ってあげましょう。確認のときにも使えます。
- 4 本当に指示を理解したか質問してあげましょう。No1～, No2～, No3～で、確認できます。